

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 9 月 14 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (9/14 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 2.0 m <sup>3</sup> /h	36.0 °C	106.6 kPa abs	A系: 0.03 vol%
		給水系: 約 2.7 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 4.8 m <sup>3</sup> /h	49.0 °C	7.75 kPa g	A系: 0.03 vol%
		給水系: 約 1.7 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 4.8 m <sup>3</sup> /h	51.3 °C	0.19 kPa g	A系: 0.25 vol%
		給水系: 約 1.8 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.24 vol%

\* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

注水量の継続監視を行っていたが、各号機で流量の低下が見られたため、以下のとおり注水量の調整を実施。なお、各号機の必要注水量(1号機が 3.8m<sup>3</sup>/h、2号機が 5.4m<sup>3</sup>/h、3号機が 5.4m<sup>3</sup>/h)は確保されている。

【1号機】・9/14 2:26 給水系からの注水量を約 2.5m<sup>3</sup>/hから約 2.8m<sup>3</sup>/hに調整(炉心スプレイ系からの注水量は約 2.0 m<sup>3</sup>/hで継続中)。

16:21 給水系からの注水量を約 2.7m<sup>3</sup>/hから約 3.0m<sup>3</sup>/hに調整(炉心スプレイ系からの注水量は約 2.0 m<sup>3</sup>/hで継続中)。

【2号機】・9/14 7:27 給水系からの注水量を約 1.3m<sup>3</sup>/hから約 1.8m<sup>3</sup>/hに調整(炉心スプレイ系からの注水量は約 4.8 m<sup>3</sup>/hで継続中)。

16:21 給水系からの注水量を約 1.6m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/hに、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.9m<sup>3</sup>/hから 5.0m<sup>3</sup>/hに調整。

【3号機】・9/14 16:21 給水系からの注水量を約 1.8m<sup>3</sup>/hから約 2.5m<sup>3</sup>/hに、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.8m<sup>3</sup>/hから 4.5m<sup>3</sup>/hに調整。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (9/14 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	31.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	30.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	29.7 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	38 °C

\* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘドランジンの注入を適宜実施。

【4号機】・8/27 14:35 原子炉ウェルおよび使用済燃料プールの塩分濃度の低減が確認されたことから、塩分除去装置(モバイルRO装置)を停止。

9/10 11:10 さらに塩分濃度を低減するため、イオン交換装置の運転を開始。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	9/14 10:29 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	9/11 10:22 ~ 9/14 10:54 移送実施
4号機	4号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	9/14 10:45 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (9/14 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

•H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

•H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。

•H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。

•H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。

•H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以 上